

JR東労組 秋田地本 能代支部 東能代運輸区 分会情報

2018年7月15日
発行責任者:宇佐美貴猛
編集責任者:情宣部
NO. 7

東能代運輸区分会 夏レク大成功！



7月12、13日に能代支部事務所にて分会夏レクを行いました。当日は河川敷でBBQの予定でしたが、天候不良のため急遽屋内で夏レクを決行！！二日間合計18名もの仲間が結集し、大いに食べ、飲み、騒ぎ、団結を深めました！



地本から下山組織部長、支部から佐藤書記長にも参加してもらい、第34回秋田地本大会の報告を受けました。

18春闘をめぐる「格差ベア根絶」「戦術行使」の方針は、組合員の意思とは大きくかけ離れ、「ストを決意させる」議論に終止してしまい、JR東労組に対する信頼や求心力を失墜させてしまった。労働協約の逸脱、労使共同宣言の失効により組合員の不安は増大し、大量脱退を生み出した結果からすれば「大敗北」であったと報告を受けました。

また能代支部を代表して佐藤支部書記長、宇佐美東能代運輸区分会長が発言し「18春闘について、職場では『確立』と『行使』の認識に乖離があった。戦術行使は厳しいという意見に耳を傾けることなく、役員の一方向的な方針貫徹があった」「方針が二転三転し、情報も無く組合員は混乱し、東労組への求心力が失墜した」しかし、組合員との議論を進める中、「全組合員との総対話に拘り議論することで、分会への信頼を勝ち取り結束が強化された」「信頼される分会を再構築していく。悩み、心ならずも組織を離れた組合員からの信頼を取り戻し再加入したい組織へとしていく」など運動のスタートを切り出す発言報告がありました。

今、夏レクを開催し飲みたけしを回り東能代運輸区分会の団結力を確認することができました。参加者からも「やってよかった。またみんなで騒ぎたい。」「準備など大変だったが、またやりたい。」との声が拳がり、次回は今回参加できなかった方にも参加してもらい、全員参加のレクを創り上げて成功させていきます！！



次回！分会レクもお楽しみに！